

島根式認知症予防システムビジネス展開事業

実施地域：島根県江津市、奥出雲町、川本町
 代表団体：公益財団法人しまね産業振興財団
 参加団体：株式会社しちだ・教育研究所、島根えごま振興会、国立大学法人島根大学、
 公立大学法人島根県立大学

地域における課題

◆認知症予防

- 高齡化率31.8%の高齡化率先進県

◆コミュニティの維持形成

- 中山間地域で人口分散

◆地域資源活用

- 地域特性を活かした産業創出

本事業の目的及び取組

目的：医療費・介護費の軽減
 取組：島根の地域資源を活用
 「食」×「教育（脳トレ）」

- 認知症予防効果の検証
- ビジネス展開モデル構築

エゴマ油 × 七田式脳トレ



本事業での実施内容及び目指す成果

①認知症予防効果の人介入試験（3プロジェクト）

えごま/七田式脳トレ/えごま+七田式脳トレ → **エビデンス取得**

②ビジネスパッケージモデルの検討

高齡者ヒアリング、販売方法・ターゲット・料金等 → **パッケージモデル構築**

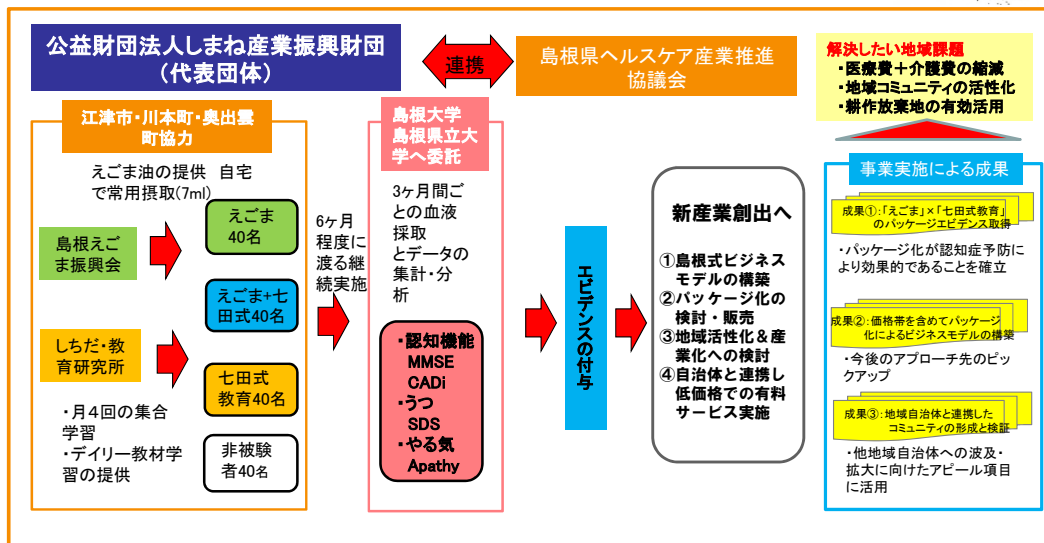
③「島根式」認知症予防システムの波及方法の検討

自治体協力要請、既存販路活用 → **コミュニティ形成モデルエリア構築**



事業名 島根式認知症予防システムビジネス展開事業

事業の全体像



事業名 島根式認知症予防システムビジネス展開事業

事業で得られた成果



① **エビデンス取得** 認知症予防 効果的に作用が期待できる

② **ビジネスパッケージモデル構築** プログラムの有効性確認

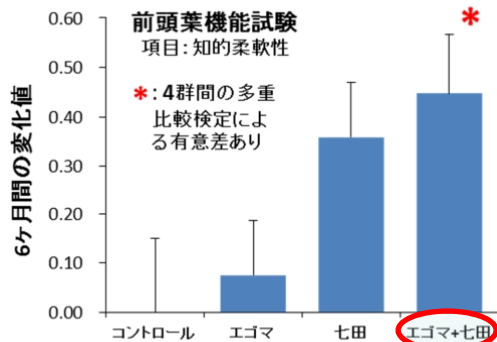
③ **波及方法** コミュニティ形成有効モデルエリア構築

事業で得られた成果 (エビデンス)

エゴマ油 × 七田式脳トレ

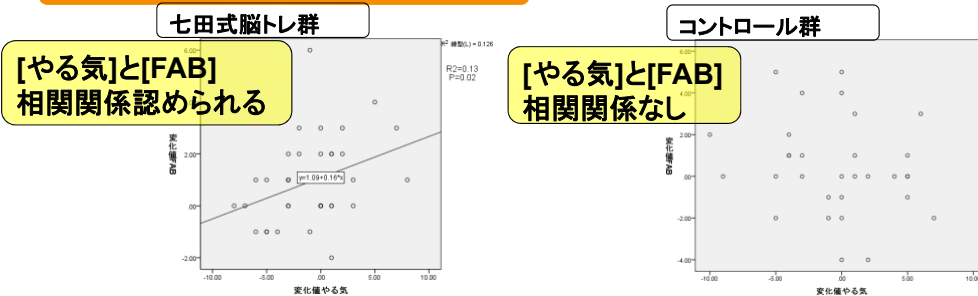
数値的優位性
確認

【実証実験での前頭葉機能(知的柔軟性)の結果】



高齢者の加齢に伴う記憶や生活意欲の低下を改善し、
認知症予防の方策として有効

成果分析 (エビデンス)



血中内 α-リルン酸増

FAB 活性化向上

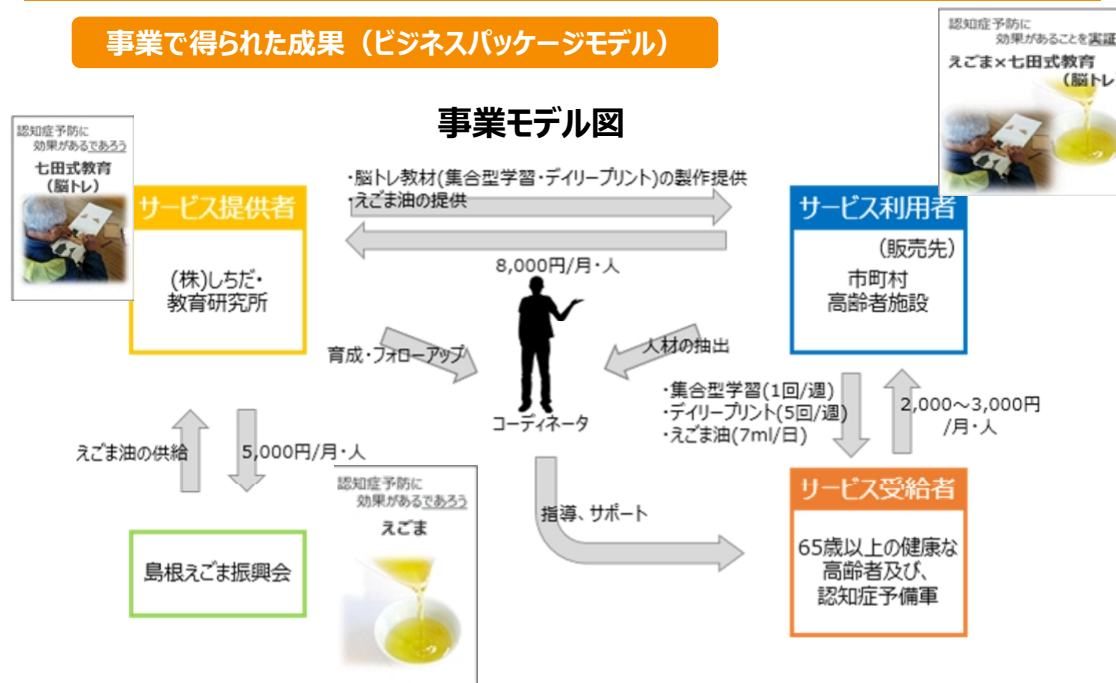
前頭葉機能改善

最高血圧低下
空腹血糖値低下
↓
動脈硬化の予防

認知症予防に有効性であると期待できる

事業で得られた成果 (ビジネスパッケージモデル)

事業モデル図



事業で得られた成果 (コミュニティ形成)

江津市: 七田式教育 (脳トレ)、七田式教育 (脳トレ) + えごま

奥出雲町: えごま、コントロール群 (非被験者)

川本町: えごま、コントロール群 (非被験者)

モデルエリア

やる気とFAB 相関関係認められる



継続意向アンケート結果

継続率 約7割

ハリが出た 充実した やる気増

コミュニケーションが楽しい 孫と遊べる

課題

<素材確保・負担割合設定>

- ① えごま生産・供給体制の強化拡充
- ② 収穫方法改善による歩留向上
- ③ 自治体及び受益者負担割合確立

<ビジネスモデル普及>

県内自治体普及方法確立
県外への普及戦略構築

<ビジネスモデル拡大>

地域別コーディネーター人材育成
商品提供チャネル拡大
パッケージラインナップの充実

今後の事業展開

パッケージ有効性確認 → ビジネス展開

ロード マップ	第1段	県内普及	既存顧客提案
	第2段	中国エリア普及	大手メーカー等提携
	第3段	全国へ	

県内普及ステップ

1. モデルエリア（江津市）での展開に向けた取組を継続
2. 介護保険制度における地域支援事業の適用
3. ヘルスケアビジネス協議会を通じた県内自治体導入促進